

活動名	団体名	邦楽グループ 城友会
文化伝承「邦楽 箏」児童ふれあいサロン	地 域	広島県豊田郡
	代 表 者	代表 宗廣 八江美
	支援金額	30万円
活動概要		
日本文化の代表「邦楽 箏」の伝承指導		
<p>少子化と併せ習い事に興味を持つ子ども達が急激に減少する現状において、私達、城友会におきまして町内の子ども達に「箏」の伝承ができればと取り組んでまいりました。</p> <p>この活動も10年となり4年生になれば総合学習の授業で「箏」を習うという意識が定着した今日です。4年生終了後も希望者は自主練習に参加することで高度な「曲」に挑戦できるようになっています。</p> <p>成果として、学習発表会にとどまらないで、町内文化協会・文化祭・敬老会等に自信を持って参加できるほどに練習をこなし、上達しています。</p>		
<p>◆実施時期： 4年生授業毎週金曜日 午後2時～3時            自主練習 火曜日 午後3時30分～5時30分            土曜日 午後1時～5時</p> <p>◆参加人数： 東野小4年生 16名×35回＝560名            自主練習(登録者) 18名×74回＝621名</p>		
		参加総人員 1,181名



《マツダ財団第24回贈呈書授与記念》



《一の糸、二の糸…斗、為、巾》



《自主練習で頑張ってます》



《発表会》

### ◆活動が関連する団体等、地域社会等に与えた影響

- ・影響を与えたのではないのですが、バレー・陸上・和太鼓・篠笛等々の特技を持つ方々より、地域の子ども達に指導されているグループがこんなに頑張っているのだから私達もより一層という思いになっています。これは、こうした取り組みをされている方々は皆さんではないかと思います。
- ・感謝されるというのではなく、私の町は少子の町で地域の大人が子ども達に何かを支援して何かを伝えたいという気持ちが大きいと思います。

### ◆苦労した点

#### 【予算】

小4年生総合学習の授業指導と希望者の特別指導において参加費を取らないで進めてきましたので、維持管理費に無理が出ました。併せて、発表会の回数、参加者数が増えることで箏の借り上げに課題が残りました。

#### 【外部へのPR】

- ・発表する場を多く持ちました。
- ・広報チラシを作成するのは困難なため、会員が名刺・年賀状形式で作成しそれぞれが関係機関の集会に参加したときに配布啓発に努めています。

#### 【参加者】

年度初めに小学校と協議計画をたてました。

#### 【地域の理解】

児童への指導も10年を迎え、また、発表会の都度「マツダ財団」の支援を頂き指導にあたっていることを啓発し、充分理解が得られているものと思われます。

### ◆今後の課題・発展の方向性

#### 【課題】

- ・箏の面数が限られており、中には古くなった箏も多くなり音色が割れていい音色で伝えることが難しい。
- ・子ども達が個々の家庭で「箏」を持たないので、指導日数が多く大変である。
- ・同じ練習量でも個人差があり、全員を発表会に同じ曲で参加させるのに大変である。

#### 【発展の方向性】

現在は4年生を対象にスタートしていますが、年々児童も減少していますので希望者は自主参加者を募り低学年から指導にあたり継承に努めたい。

### ◆活動を終えての感想・意見等

年毎に子供が少なくなり集団で楽しく遊ぶことが不可能な今日、「箏」のみのことですが、興味を持つ子ども達に楽しく継続して、日本文化の代表「邦楽 箏」の伝承指導することが出来ましたことは、財政面で「マツダ財団青少年健全育成事業」のご支援をいただきましたことと深く感謝申し上げます。